

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 3年 3月 31日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスあろは

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0	0	空間を仕切り、児童が集中できるように個別訓練を行っています	
	2	職員の配置数は適切である	8	0	0	個別指導を行っています が、利用者一人当たり指導員0.5人配置しています	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3	0	建物の構造上トイレ入口に段差がありますが、トイレを使用する時には、必ず職員が付き添っています	段差を改善する事はできませんが、段差の昇り降りなどの運動機能の向上に活用しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	1	目標に到達するように振り返りを日々行っています	全員揃ってはなかなかできないという意見があったシフト制で全員揃っては難しいが改善目標とします
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	3	保護者とは、常に連絡を密にし、支援に反映しています	評価表を周知し業務改善につなげていく事を積極的に行っていきます
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	2		NPO法人のホームページで公開しています 自己評価について内容を職員と共同共有しています
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1	6		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1	0	事業所内研修だけではなく、外部研修に参加できるように配慮しています	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	0		計画作成会議はシフトの関係で全員揃っての会議は難しいが改善目標としています
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	0	行動評価プログラムを基にアセスメントを行っています	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	1	指導員同士で情報を共有し立案しています	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1	0	社会性、ソーシャルスキルトレーニング等カテゴリー目標を検討しプログラムを設定しています	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	0	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	0	個別の支援と社会性を養う支援を組み合わせています	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1	1	個々の提供課題や支援の内容などを前日や当日の空き時間を活用して分担、共有している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	2	支援の合間などを活用して振り返りを行い記録を作成して情報の共有はできている	支援開始前の確認はできるが、放デイでは送迎後その日に行くことが難しく、できる限りその日に振り返りができるように検改善していく事を目標とする
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	0		
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0			

19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	7	0	0		
----	---------------------------------	---	---	---	--	--

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	2	0		利用者が相談支援事業所を利用していないケースが多いが発達支援センターやつぼみを紹介して担当者会議が開催できて偏らない支援を目指して行きたいと考えます
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	2	0	送迎時等、適切に調整できるように連絡しています	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	0	0		医療的ケアが必要な子どもを支援していません
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	3	0	卒業後の意向を聞き、支援障がいサービスの内容等の情報提供を行っています	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	0		専門職に来所していただき講師として抗議していただく機会を作りたいと考えています
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	3	1	土曜日、長期休暇は障がいのない児童に来所してもらい交流の機会を持っている	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	2	2		今後、協議会に参加する事を検討します
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	0	連絡帳、送迎時などの機会、日々伝えることができます	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	1		新型コロナウイルスの感染状況を把握しながらペアレント・トレーニングは、行っていきたいと考えています
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	0	契約締結時に丁寧に説明しています	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	0	相談については常に受け入れられる体制にし、個々の相談には必ず対応し、助言を行っています	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2	4		新型コロナウイルス感染症流行のため事業所への入退室の人数を最小限にしているため開催をひかえているが終息後には必ず開催したいと考えています
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0	適切に対応しています	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	0	5		定期的に発信していきます
	35	個人情報に十分注意している	7	0	0	必ず鍵のかかる書庫に収納し施錠確認を徹底しています	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	0	5		新型コロナウイルス感染症の終息後取り組みたいと考えます

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0	0	マニュアルは策定しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	0	訓練を行っています	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	0	事業所内研修と法人研修を実施しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	0	0	記載しています	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	0		対象児童はいませんが、今後対象児童の利用があれば対応していきます
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	0	ミーティングで共有しています	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスあろは 保護者等数(児童数) 16名 回収数 16名 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	16	0	0	0	壁際に家具を配置してあり広いスペースを確保されています	
	2 職員の配置数や専門性は適切である	15	0	0	1		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	12	2	0	2	・番号や写真などを活用し部屋に貼り付けて分かりやすくしてあります ・伺うことがあまりないのでわかりません ・まだ、1度しか行ったことがないのでよくわかりません	契約時及び面談時に環境説明と児童への伝達方法の説明をしっかりと行い理解していただくようにしていきます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	14	1	0	1	すっきりと整理され清潔にされています	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	16	0	0	0	本人の出来ない事をリストで管理されており、たくさんの事ができていますとわかりました	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	16	0	0	0	・わかりました ・具体的に設定されていて今後どのように進めていくのか、どんな支援が必要なのかのわかり、ありがたかったです	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	16	0	0	0		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	15	0	0	1		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	2	5	5	・コロナの時期なので難しいと思います ・通常すでに保育園に通っているため障がいのない子どもとの交流はできています	土曜日、長期休暇は障がいのない児童に来所してもらい交流の機会を持っています
適切な 支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	16	0	0	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	14	0	0	2	わかりやすく説明頂き理解することができました	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	8	1	0	7	親身に相談にのっていただいています	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	16	0	0	0	児童デイの日記に様子を細かく書いていただいています	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	14	1	0	1	・送迎時にもお話ができてありがたいです ・今後面談はあるのでしょうか	モニタリング時期の説明をしっかりと行っていき事と相談に関しては常に対応可能ということも説明しています
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1	0	9	6	・コロナ禍では難しいのでは？ ・コロナの流行があり親も心配 ・コロナの時期なので難しいと思います	新型コロナウイルス感染症流行のため事業所への入退室の人数を最小限にしているため開催をひかえているが終息後には必ず開催したいと考えています
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	16	0	0	0	園からの質問・相談についてもすぐに時間を作って対応していただいています		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	16	0	0	0		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	8	1	1	6		
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	16	0	0	0		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	11	1	0	4		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	11	1	0	4		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	15	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも楽しかったと言って帰ってきます ・「今日はいく日？」と楽しそうによく聞いてきます ・いつも送り出す時に「お勉強にいくんだよ」と言っています。嫌がることはほほほないです ・お休みの日も「先生くる？」と楽しみに待っています 	
	23	事業所の支援に満足している	16	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめは親子ともに不安でしたが今は毎回のしく通えているようで安心していています ・ありがとうございます ・保育園の行事でお休みしても振替などでご対応頂きありがとうございます ・1日2時間くらいだと嬉しいです 	<p>コロナ禍で児童を守るために三蜜を避け、昨年提供時間を短くしたことで、児童の集中力や持続性は短時間の個別支援の方が増すということ事が理解できました</p> <p>安心して生活できる社会となった時には時間のことも検討していきたいと考えます</p>

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 31日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス あろは

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0	空間を仕切り、児童が集中できるように個別訓練を行っています	
	2	職員の配置数は適切である	8	0	個別指導を行っています が、利用者一人当たり指導員0.5人配置しています	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	3	建物の構造上トイレ入口に段差がありますが、トイレを使用する時には、必ず職員が付き添っています	段差を改善する事はできませんが、段差の昇り降りなどの運動機能の向上に活用しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	0	教材や玩具、棚等随時消毒、事業所の清掃や消毒も徹底し児童の成長に合わせた空間配置等を行っています	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1	目標に到達するように振り返りに日々行っています	全員揃ってはなかなかできないという意見があった シフト制で全員揃っては難しいが改善目標とします
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	保護者とは、常に連絡を密にし、支援に反映しています	評価表を周知し業務改善につなげていく事を積極的に行っています
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	3		NPO法人のホームページで公開しています 自己評価について内容を職員ともっと共有していきます
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	事業所内研修だけでなく、外部研修に参加できるように配慮しています	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0		計画作成会議はシフトの関係で全員揃っての会議は難しいが改善目標としています
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	行動評価プログラム(ポーター)を基にアセスメントを行っています	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	ガイドラインの療育目標に合わせて社会性、認知、言語、運動、身辺自立等の目標を設定し、年齢に見合った支援を行っています	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1	指導員同士で情報を共有し立案しています	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	毎週、認知、社会性、言語等カテゴリー目標を検討しプログラムを設定しています	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0	個別の支援と社会性を養う支援を組み合わせています		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	個々の提供課題や支援の内容などを前日や当日に時間を活用して共有しています	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2	支援の合間などを利用して振り返りを行い記録を作成して情報の共有はできています	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	4		利用者が相談支援事業所を利用していないケースが多いが発達支援センターやつぼみを紹介して担当者会議が開催できて偏らない支援を目指して行きたいと考えています
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	0		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—		医療的ケアが必要な子どもを支援していません
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—		医療的ケアが必要な子どもを支援していません
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	個々の児童について幼稚園などを訪問して相互理解を図っています	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1		専門職に来所していただき講師として抗議していただく機会を作りたいと考えています
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	5	土曜日、長期休暇は、障がいを持たない児童に来所してもらい交流の機会を持っています	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	4		通所支援事業者の連絡会に参加していますが今後協議会等にも参加していきたいと考えています
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	連絡帳、送迎時などの機会、日々伝えることができます	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	4		新型コロナウイルスの感染状況を把握しながらペアレントトレーニングは、行っていきたいと考えています
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	契約締結時に丁寧に説明しています	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	7		新型コロナウイルス感染症流行のため事業所への入退室の人数を最小限にしているため開催をひかえているが終息後には必ず開催したいと考えています
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	相談については常に受け入れられる体制にし、個々の相談には必ず対応し、助言を行っています	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	4		定期的に発信していきます
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	必ず鍵のかかる書庫に収納し施錠確認を徹底しています	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	7		新型コロナウイルス感染症の終息後取り組みたいと考えます
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	0	マニュアル策定は行っています	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	訓練を行っています	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0		対象児童はいませんが、今後対象児童の利用があれば対応していきます
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2		対象児童はいませんが、今後対象児童の利用があれば対応していきます
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	ミーティングで共有しています	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	事業所内研修と法人研修を実施しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	0	記載しています	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和 3年 3月 31日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスあそび保護者等数(児童数) 4名 回収数 4名 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	0	0			
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	4	0	0			
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1	0			
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	4	0	0			
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	4	0	0			
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	0	4			
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4	0	0			
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4	0	0			
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	0	0			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	0	4			
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0			
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4	0	0			
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	2	1	1			
	14 個人情報に十分注意しているか	4	0	0			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4	0	0			
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	1	0			
	17 子どもは通所を楽しみにしているか	4	0	0			

満足度	18	事業所の支援に満足しているか	3	1	0	コロナ自粛で長期休暇と土曜日に時間短縮 今現在は満足していない	コロナ禍で児童を守るために三蜜を避け、昨年提供時間を短くしたことで、児童の集中力や持続性は短時間の個別支援の方が増すということ事が今回理解できました 安心して生活できる社会となった時には時間のことも検討していきたいと考えます
-----	----	----------------	---	---	---	------------------------------------	---

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。